



加藤真介

(かとう しんすけ)

リハビリテーション部
部長

- 1959年(昭和34年)生まれ
- 1988年(昭和63年)徳島大学大学院医学研究科博士課程修了
- 2012年(平成24年)11月 就任

専門分野 ●リハビリテーション医学 ●整形外科 ●脊椎脊髄外科

リーダーシップを発揮し 徳島県全体のリハビリテーションの質を高めたい

リハビリテーション部では、チーム医療として医師・看護師・療法士が患者さんとコミュニケーションと図り、多面的な治療につなげています。また、診療科の医師とも十分に相談しながら、治療方針を決定しています。医師は、大勢の演奏家をまとめる指揮者のようにチーム内・外をコーディネートする重要な役割を担っているのです。

日頃から、患者さんと直接関わっている看護師や療法士の意見をよく聞くように心がけています。何気ないことでも意見が言い合えるようなチームになりたいですね。

今まで徳島県では、リハビリテーションの分野で教育や研究の核となる病院や施設がありませんでした。今後は本院が、その核となる役割を果たしていきたいですね。県内の病院や医療施設と連携をすることでお互いの治療の質を高めていきたいです。同様に研究の分野でも、新たな研究の発展につなげればと思っています。

将来必要となる専門医の数は今の約2倍(4000人)の人数になるという予測もあります。優秀な人材育成にも力を入れて取り組んでいきたいです。